

豊能町の財政状況 令和6年度決算



豊能町 総務部 行財政課



もくじ

①財政とは	3ページ
②歳入はどのくらいあるの？	4ページ
③歳入はどのように変化しているの？	5ページ
④歳出の内容は？（目的別）	6ページ
⑤歳出の内容は？（性質別）	7ページ
⑥具体的なお金の使い道は？	8ページ
⑦歳出はどのように変化しているの？	9ページ
⑧歳入歳出を家計簿に置き換えるとどうなるの？	10ページ
⑨歳入歳出を他団体と比べるとどうなの？	11ページ
⑩自由に使えるお金はどのくらいあるの？～経常収支比率～	12ページ
⑪借金の返済は大丈夫？～実質公債費比率～	13ページ
⑫将来の負担はどのくらいあるの？～将来負担比率～	13ページ
⑬財政に余裕はあるの？～財政力指数～	14ページ
⑭基金（貯金）はどのくらいあるの？	15ページ
⑮町債（借金）はどのくらいあるの？	16ページ
⑯今後の豊能町の収支状況はどうなるの？	17ページ
⑰豊能町の課題	18ページ
⑱豊能町の取組み	19ページ

とよのんについて

とよのんは豊能町のイメージキャラクターです!!
生まれた日：10月4日
性別：たんぽぽ
好きな食べ物：たんぽぽのてんぷら
たんぽぽ茶
豊能産のお米と野菜



① 財政とは

財政とはお金のやりくりのことです。町運営のために欠かせないお金をどのように集め、どのような事業に使うかを必要性や優先順位を考えながら決めていきます。流れは下記のとおりです。

① 予算作成

1年間の収入と支出を見積り、お金のやりくりの計画を立てます。

② 執行

予算作成で立てた計画を基に、事業を実施します。

③ 決算整理

お金がどのように動いたのか整理し、1年間の実績を振り返ります。

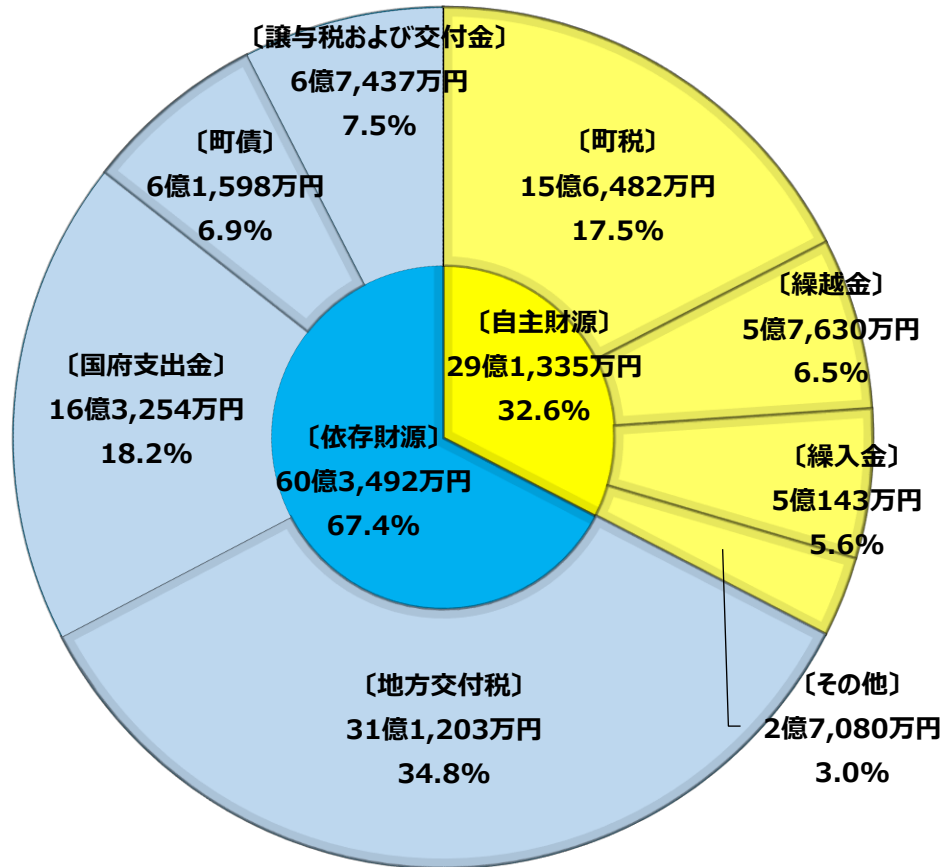


会計 = お金が入り出すお財布



この一連の流れを財政というよ。事業を行うためのお金は、住民の皆様から納めていただいた税金が使われるため、③決算整理でお金の使い道を明らかにするよ。決算内容を少しでもわかりやすく公表し、住民の皆様には財政状況を知っていただくために、本書を作成したよ。

② 歳入はどのくらいあるの？



★税金など町に入る1年間の収入のことを歳入といいます。
令和6年度歳入は**89億4,827万円**で、町債の増などにより前年度より**10億970万円**の増となりました。

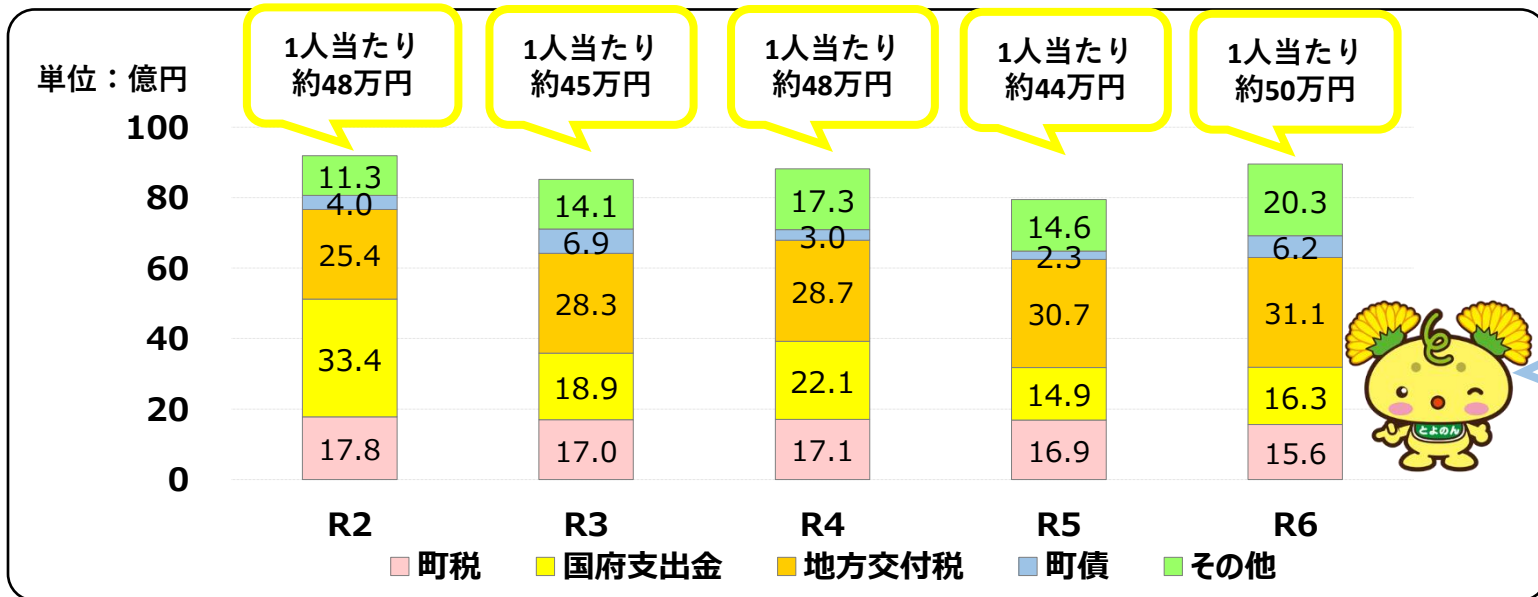
- ・〔繰入金〕：主に基金（町の貯金）の取り崩し
- ・〔地方交付税〕〔国府支出金〕〔譲与税および交付金〕：国や大阪府から交付されるお金
- ・〔町債〕：必要な事業を行うために町が借るお金

★歳入は自主財源と依存財源に分けられます。

- ・自主財源：町が徴収し、比較的自由に使用できるお金
- ・依存財源：国や大阪府などから交付されるお金

★比較的自由に使える自主財源が多いほど、国や大阪府に依存しないお金であるため、行政運営の自主性と安定性が確保できます。

③ 歳入はどのように変化しているの？



1人当たりの金額は、当該年度の1月1日時点の住民基本台帳人口で算出



町税の約6割は町民税が占めているよ。

人口減少や高齢化の影響で、町税は減少傾向にあります。それを補うために、依存財源である地方交付税が増加傾向にあります。

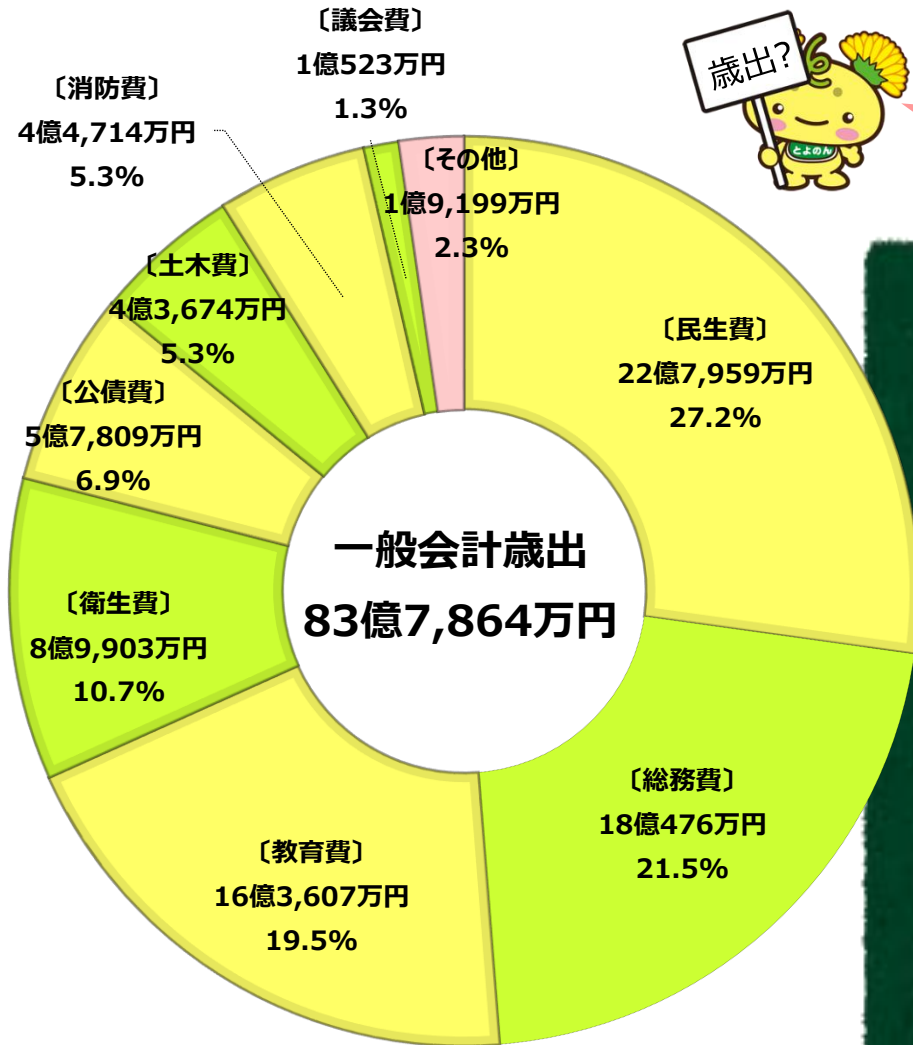
令和6年度は小中一貫校施設整備にかかる国庫支出金や町債の増により、令和5年度に比べ国府支出金および町債が増加しています。主たる自主財源である町税は定額減税の実施により、前年度より減少しています。

本町の自主財源は減少傾向であり、歳入の3分の2以上を地方交付税等の依存財源に頼っている状態で、依然として厳しい財政状況が続いております。そのため、小中一貫校の施設整備や公共施設再編等を進めていき、大規模改修費用や維持管理経費等の圧縮を行うなどの支出削減をはかり、持続可能な財政運営を目指していきます。

④ 歳出の内容は？（目的別）



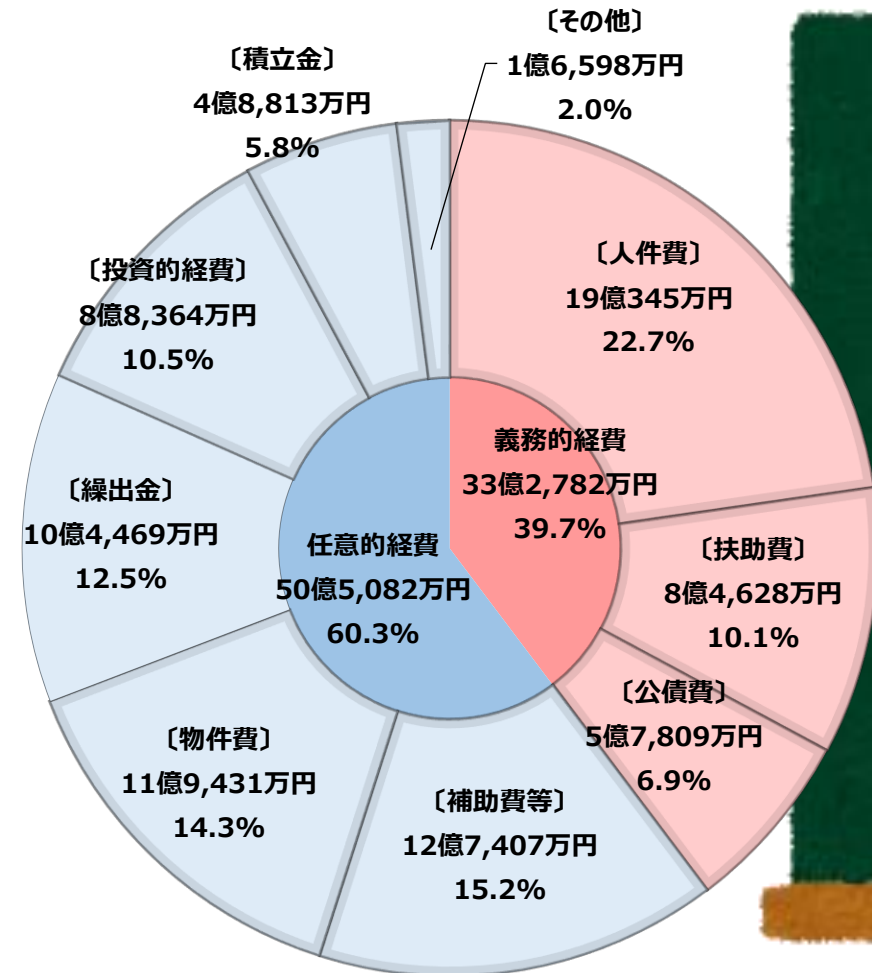
歳出とは町の「1年間の支出」のことで、「目的別」と「性質別」に分けられるよ。まずは「目的別」から見ていこう!!



目的別とは、経費を行政分野ごとに分類したものです。

- ★民生費：高齢者や障害者、児童福祉などにかかるお金
- ★総務費：企画、徴税、戸籍、選挙、統計などにかかるお金
- ★教育費：幼稚園、小中学校や生涯学習、文化、スポーツ振興などにかかるお金
- ★衛生費：健康づくり、ごみ処理などにかかるお金
- ★公債費：町の借金を返済するお金
- ★土木費：道路、河川などの建設や管理にかかるお金
- ★消防費：消防活動にかかるお金
- ★議会費：議員の報酬や議会の運営などにかかるお金

⑤ 歳出の内容は？（性質別）



性質別とは、経費を人件費や物件費などに分類したものです。

★義務的経費とは支出が義務づけられ、簡単に減らすことができない費用のことです。

- 人件費：職員給与や退職金へ使うお金
- 扶助費：児童、高齢者、障害者などを支援するお金
- 公債費：町の借金を返済するお金

★任意的経費とは支出が任意にできるお金のことで、義務的経費以外のものをいいます。

- 補助費等：各種団体に対する助成金や負担金
- 物件費：光熱水費、委託料など支出の効果が短いものに使うお金
- 繰出金：一般会計と特別会計などの会計間で移動するお金
- 投資的経費：道路や施設の整備など将来に残るものに使うお金
- 積立金：健全な財政運営のため、備えとして積み立てるお金

義務的経費は39.7%だね。
この数字が大きくなると、任意に使える
お金が少なくなるということなんだ。



⑥ 具体的なお金の使い道は？

小中一貫校施設整備事業

国の補助金等を活用して、西地区の小中一貫校施設整備工事を実施しました。



5億4,415万円

豊能郡環境施設組合 負担金事業

豊能郡環境施設組合による、ダイオキシン類を含む廃棄物管理施設整備にかかる費用の一部を負担しました。

1億2,701万円

基幹系システム標準化 対応事業

標準化法により義務付けられた基幹系システムの標準化に向けて、国の補助金を活用して標準システムを導入するための対応作業を行いました。

9,126万円

その他の事業

- ・光風台小学校改修事業 4,817万円
- ・シートス改修事業 3,530万円
- ・高校生通学費補助事業 440万円
- など

① 歳出はどのように変化しているの？



普通建設事業費とは建設事業などにかかる投資的経費のことだよ。

子育て世帯や住民税非課税世帯等に臨時特別給付金を給付したため、扶助費が増加しています。

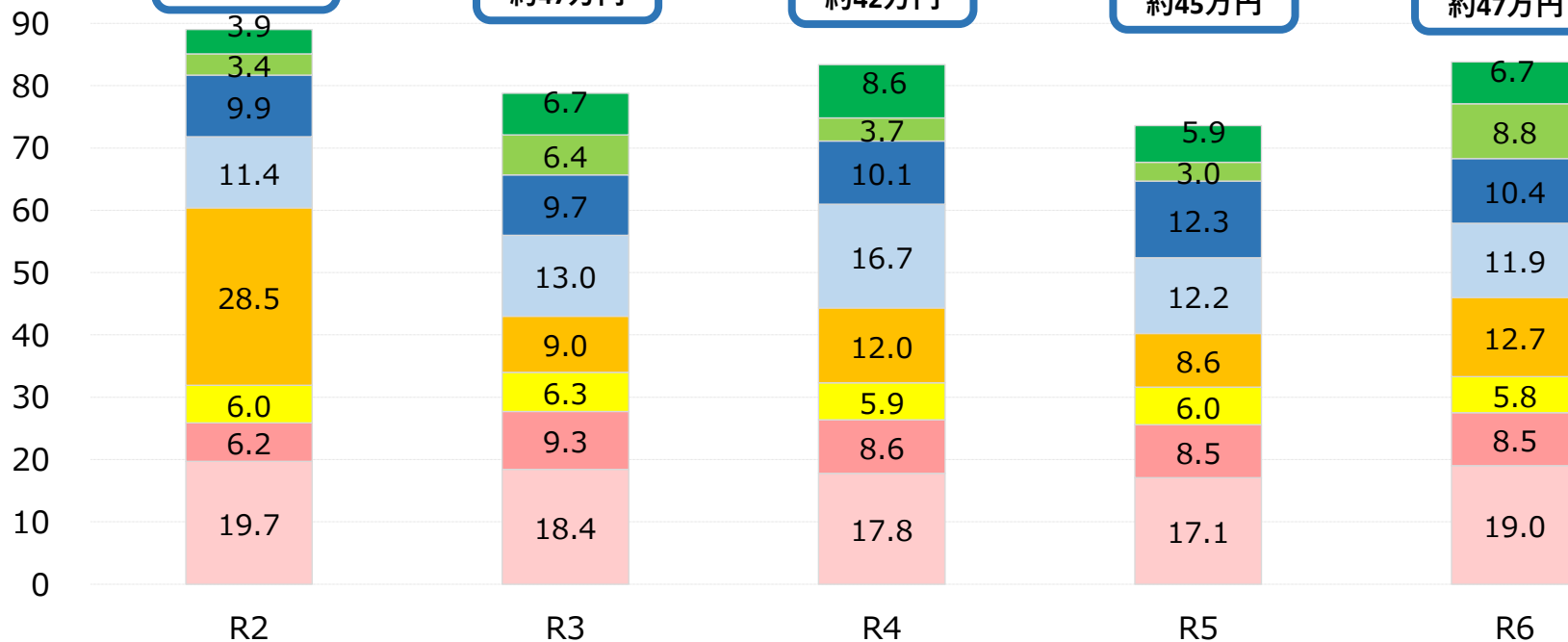
スマートシティ推進事業や光熱水料費の高騰の影響により、物件費が増加しています。

スマートシティ推進事業、広域ごみ処理にかかる費用などの減により、物件費、補助費が減少しています。

小中一貫校施設整備事業により、普通建設事業費が増加しています。

1人当たりの金額は、当該年度の1月1日時点の住民基本台帳人口で算出

単位：億円

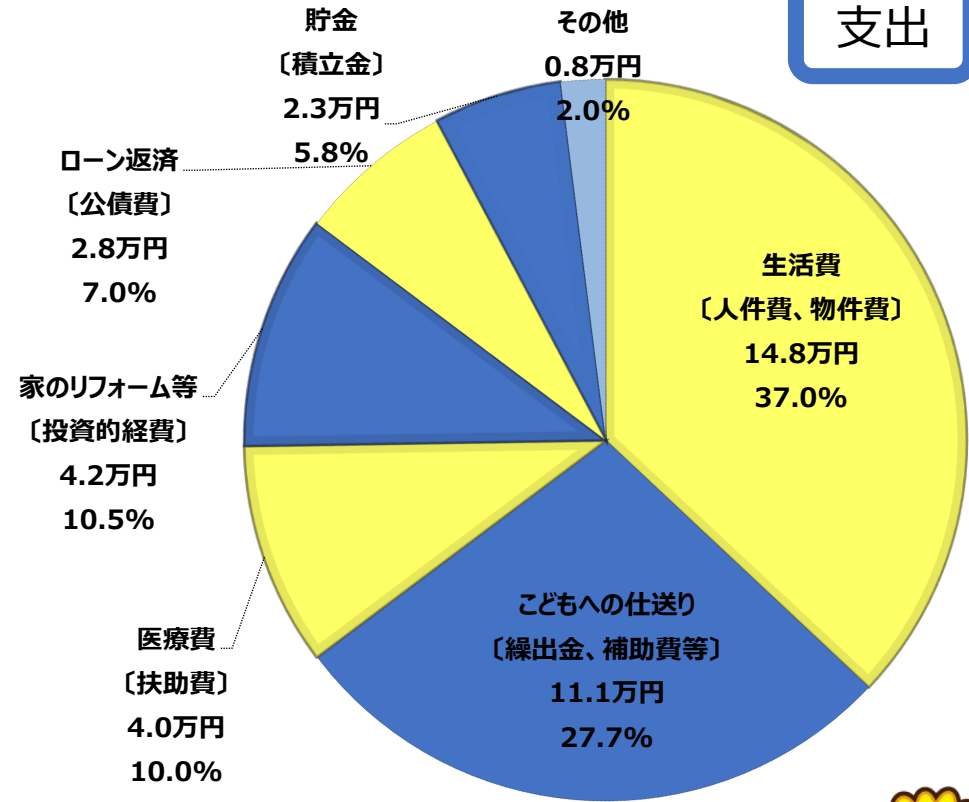
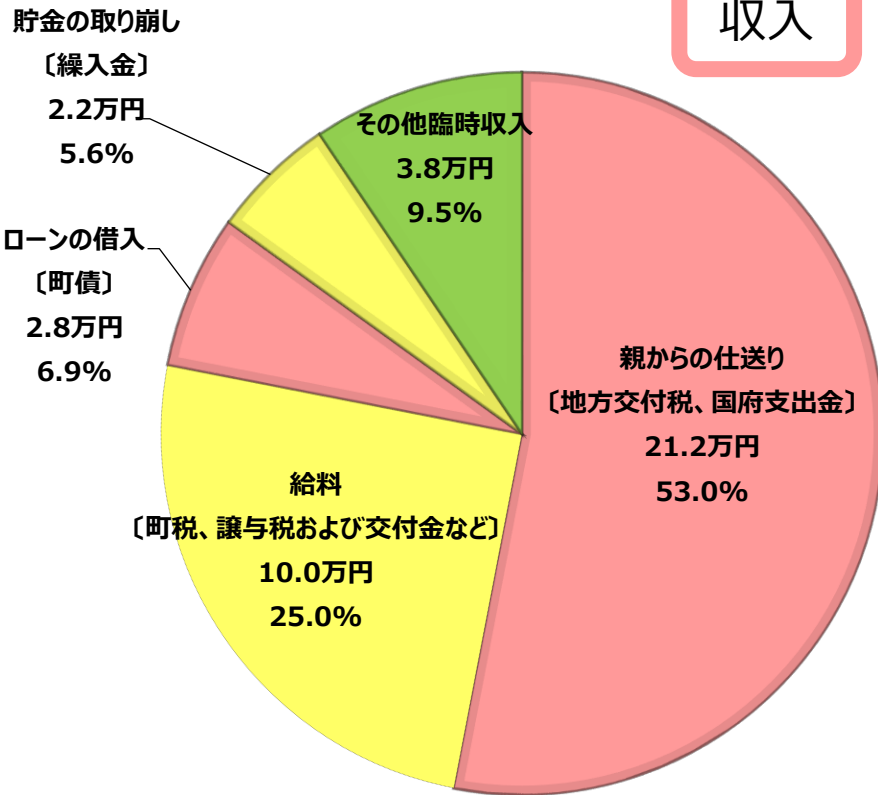


人件費 扶助費 公債費 補助費等 物件費 繰出金 普通建設事業費 その他

⑧ 歳入歳出を家計簿に置き換えるとどうなるの？

収入

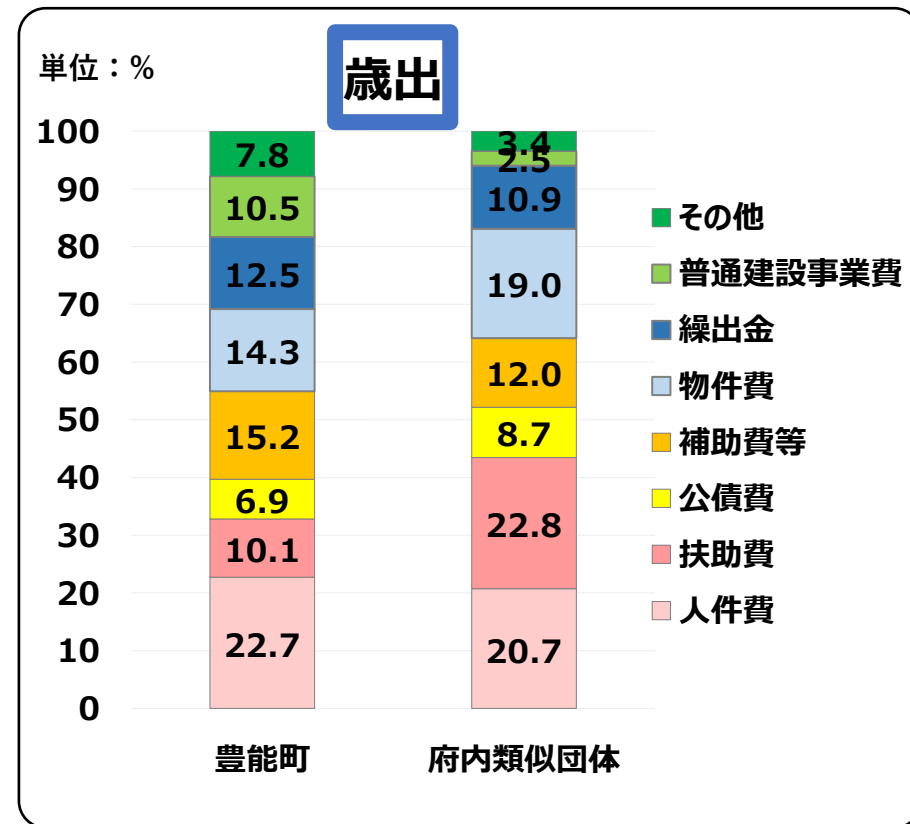
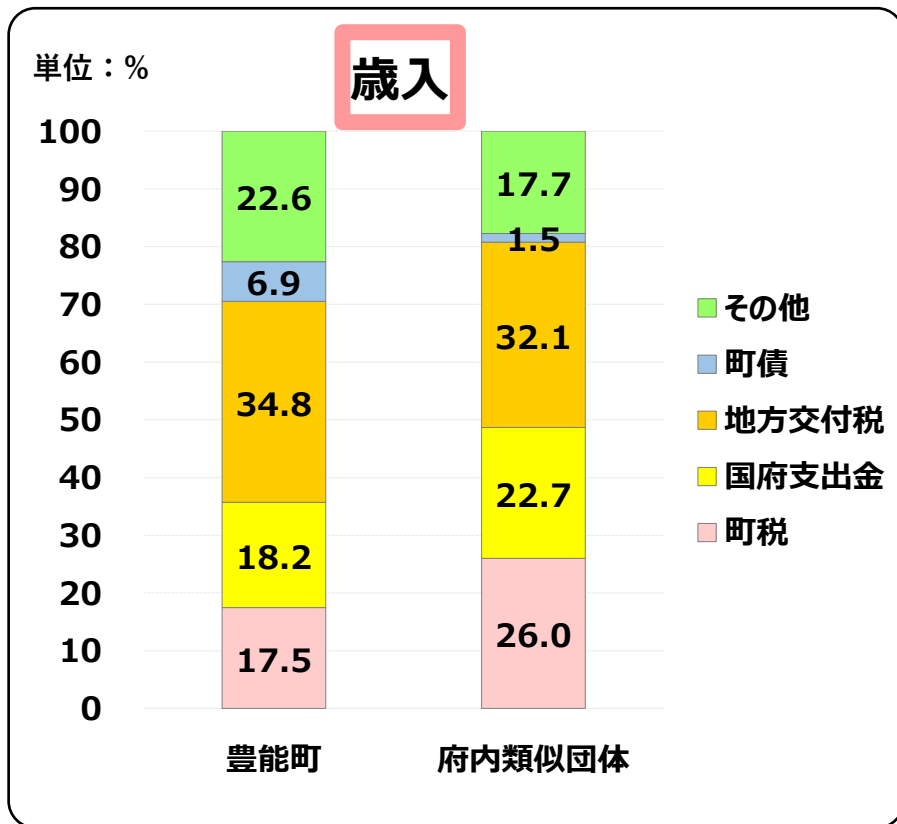
支出



豊能町の財政を、1ヶ月当たり40万円の収入がある家庭に置き換えてみたよ。収入の半分以上は親からの仕送りに頼っていて、自立できていないことがわかるね。支出面では、生活費や医療費などの削減できない費用が多くて、家のリフォーム等に回すお金の余裕があまりないね。でもいつまでも古くなった家をそのままにできないよね。収入を増やすか、支出の見直しが必要だね。



⑨ 歳入歳出を他団体と比べるとどうなの？

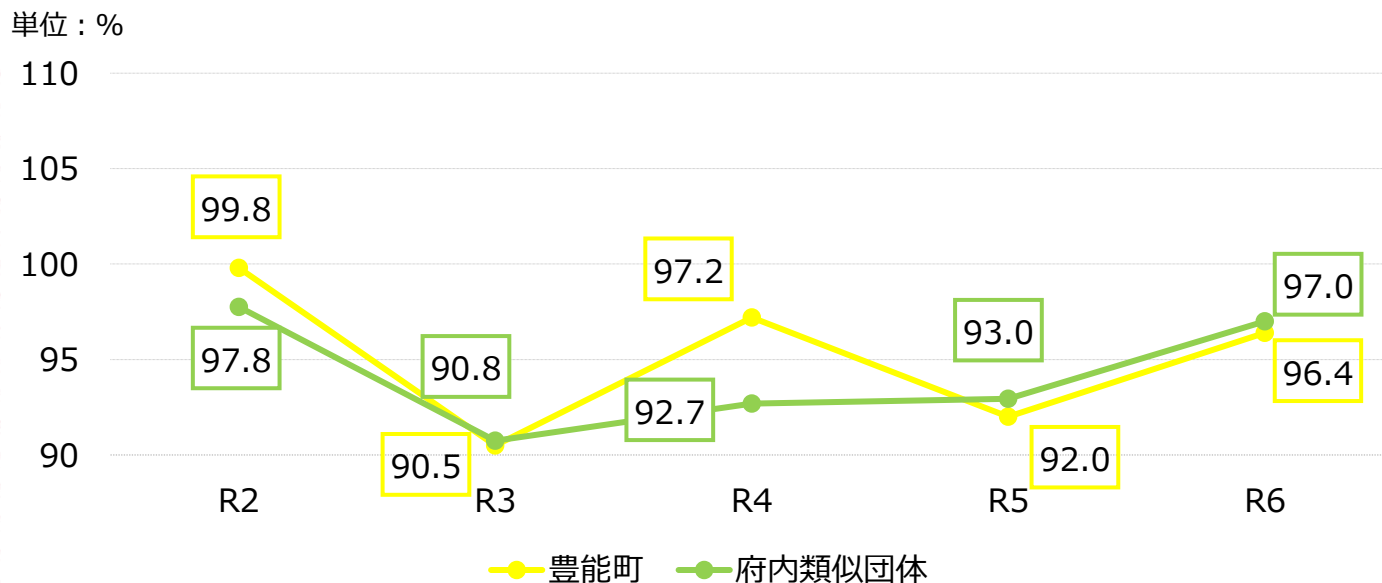


本町は、税基盤が弱いため、歳入のうち町税の占める割合が府内類似団体より低い割合となっています。また土地や家屋などに課税する固定資産税の収入額が比較的低いです。また小中一貫校施設整備にかかる町債の増により、類似団体に比べ町債の割合が高くなりました。

令和6年度は小中一貫校施設整備を実施したことにより、普通建設事業費の割合が府内類似団体より高くなりました。扶助費については、本町には民間の幼稚園や保育所等がないことから、児童支援にかかる支出が少ないため、府内類似団体より低い割合となっています。

⑩ 自由に使えるお金はどのくらいあるの？～経常収支比率～

経常収支比率とは、財政のゆとりを表すものです。町税などの毎年度入ってくる収入が、義務的経費のように毎年度支出するお金に充てられる割合を示しています。この比率が高いほど新しい事業や自由に使えるお金が少なくなります。

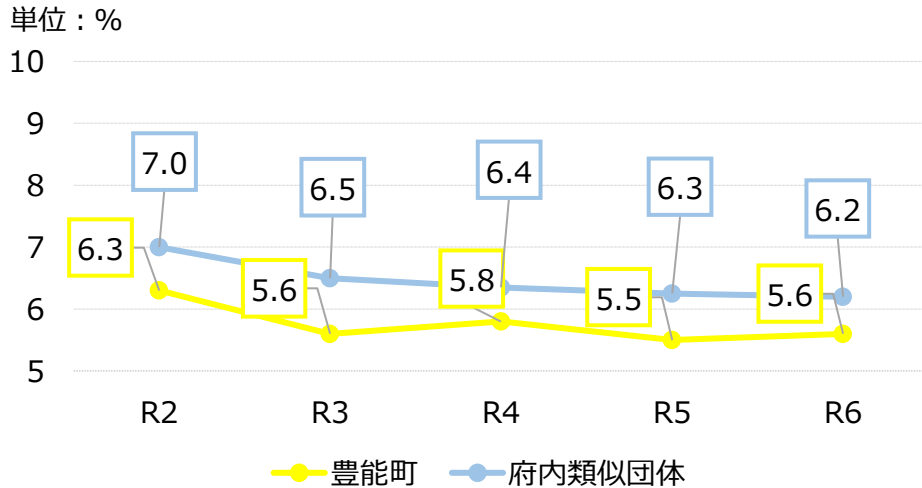


令和6年度経常収支比率は96.4%で前年度に比べて4.4ポイント増加（悪化）しました。これは、収入では町税が減少したものの普通交付税や譲与税および交付金が増となったが、支出で退職金や、予防接種および広域ごみ処理にかかる費用が増となったためです。府内類似団体と比較すると、数値は0.6ポイント下回っています。

依然として町税などの自主財源の収入増加を見込むことは難しく、普通交付税などの依存財源に頼り、その増減による影響が大きい財政運営となっております。そのため持続可能な町政運営を行うためにも、「小中一貫校の整備」や「公共施設の再編」による施設の集約化を早期かつ適切な規模で行っていく必要があります。

⑪ 借金の返済は大丈夫？ ～実質公債費比率～

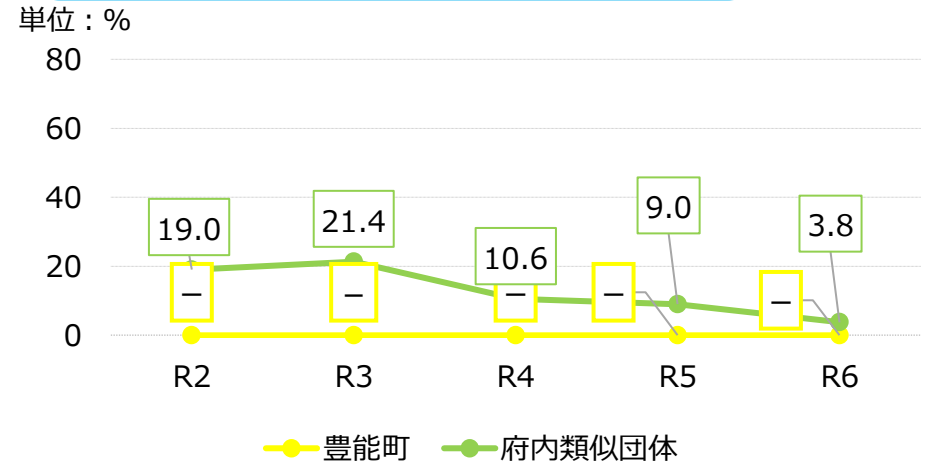
実質公債費比率は、年間収入に対しての借金返済額の割合を表しているよ。過去3年間の平均値を取るよ。



令和6年度実質公債費比率は5.6%で前年度に比べて0.1ポイント増加しました。府内類似団体と比べると数値が低いです。今後、小中一貫校の整備や公共施設の再編を実施するため、実質公債費比率が増加していくことが予想されます。公債費が、町の財政を圧迫しないよう、健全な財政運営をしていく必要があります。

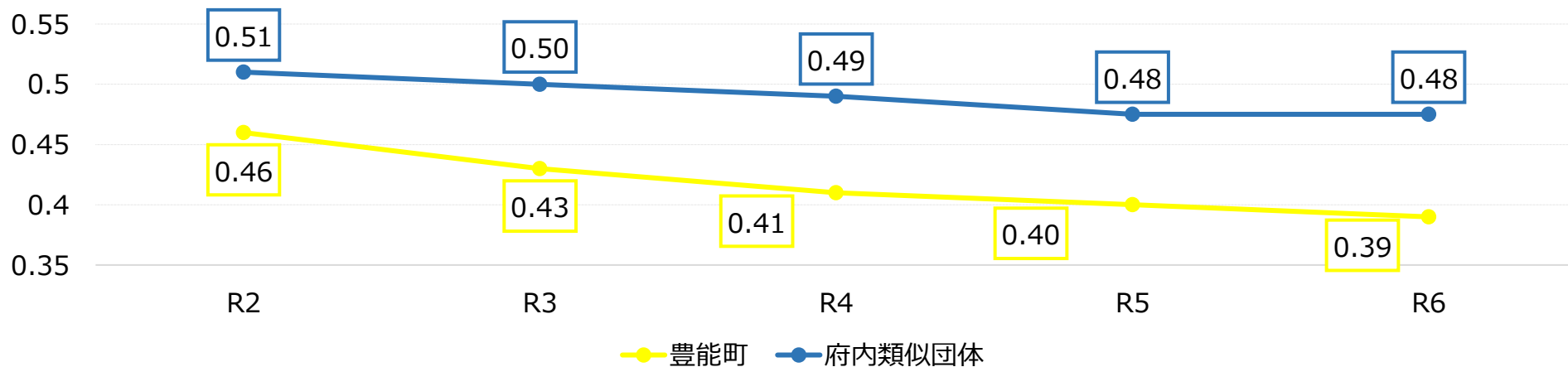
⑫ 将来の負担はどのくらいあるの？ ～将来負担比率～

将来負担比率とは、借金返済などの将来負担しなければならないお金が、年間の収入に対してどのくらいあるかを表したものだよ。



本町では平成29年度から「-」になっています。これは将来負担額より負担額に充てられるお金の方が多いためです。府内類似団体より健全な状態ですが、今後、小中一貫校の整備や公共施設の再編を実施するため、数値に注意していく必要があります。

⑬ 財政に余裕はあるの？～財政力指数～



財政力指数とは、町が標準的に支出するお金のうち、自力でまかなえる割合を示すものだよ。
1に近いほど財政に余裕があるといえるよ。

本町は毎年減少しており、令和6年度は0.39で前年度より0.01ポイント減少しています。原因は人口減少や高齢化による町税の減少によるものです。

府内類似団体と比べても低い数値となっており、財政に余裕があるとは言い難いです。

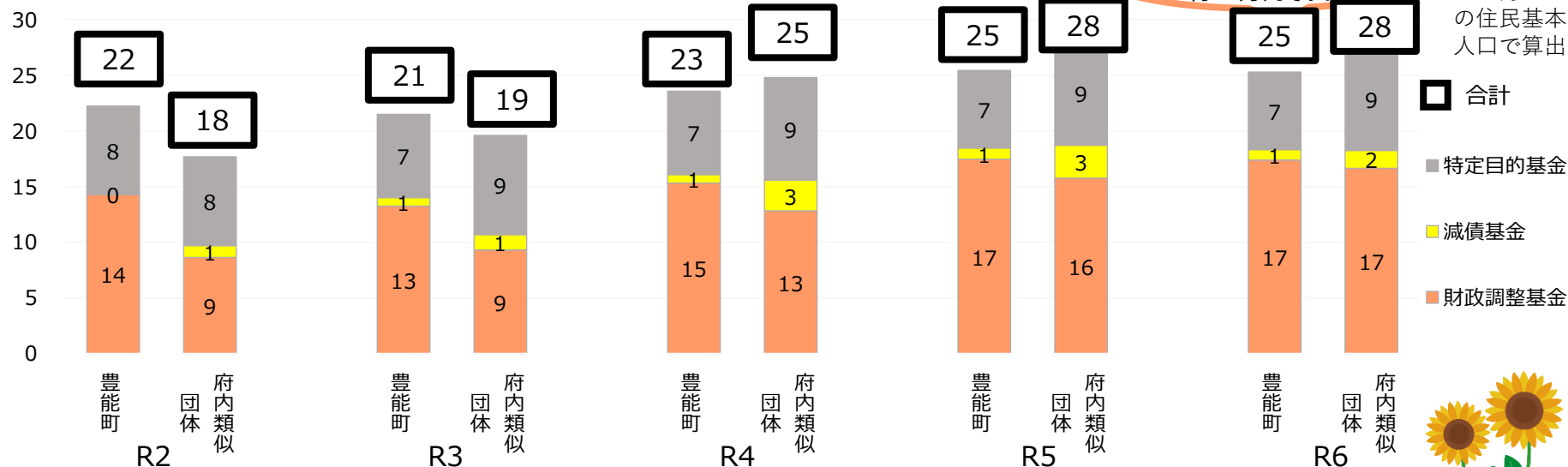
今後、小中一貫校の整備や公共施設の再編等を実施し、支出を最小限に抑えるよう取り組んでいきます。



⑭ 基金（貯金）はどのくらいあるの？

1人当たりの金額は、当該年度の1月1日時点の住民基本台帳人口で算出

単位：億円



★財政調整基金とは、景気悪化による歳入の減少や災害による歳出の増加などに備える貯金のことです。

令和6年度は決算余剰金を財政調整基金に積み立てた額が、基金取崩し額を下回ったため、結果として残高は17億3,699万円となり前年度より725万円減少しました。依然として予算編成時には財政調整基金を取り崩している状態が続いているため、今後さらなる歳出抑制を図り、基金を減少させないよう努めていくことが重要となります。

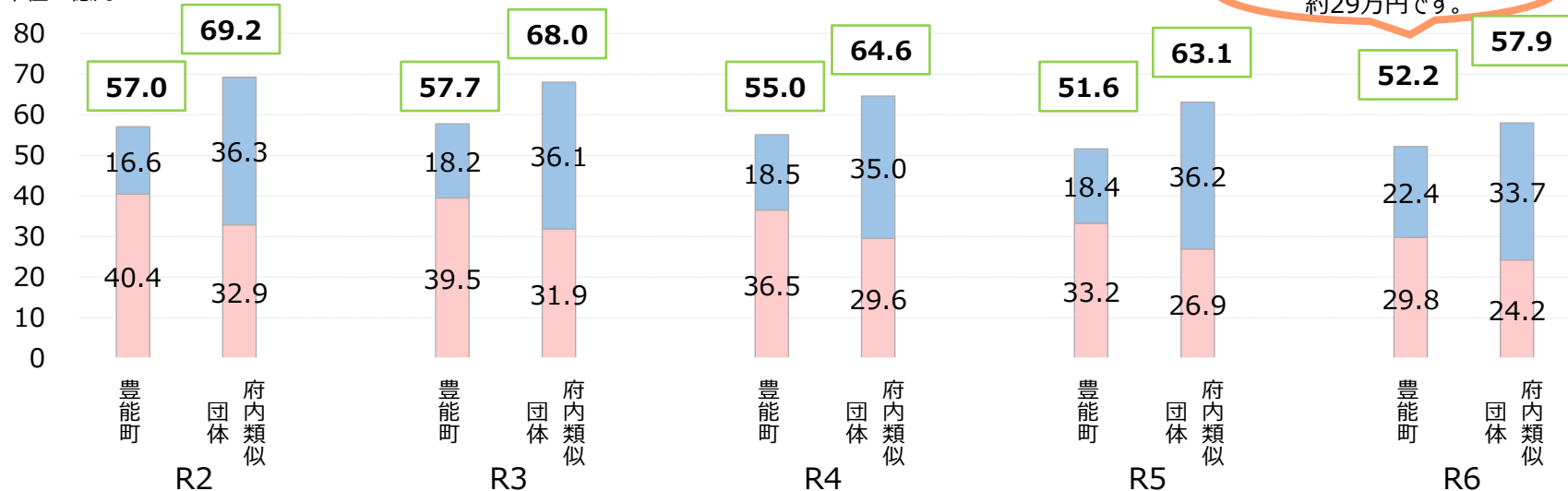
★減債基金とは、地方債等の借金返済に備えて積み立てる貯金のことです。

令和6年度は、臨時財政対策債の償還金相当分として普通交付税が追加交付され、その分を基金に積み立てましたが、償還金の一部を基金から取り崩したため、結果として残高は9,320万円となり前年度より911万円減少しました。

★特定目的基金とは、特定の目的のために積み立てたお金を、その使い道に限って取り崩すことができる貯金のことです。

15 町債（借金）はどのくらいあるの？

単位：億円



1人当たり
約29万円です。

1人当たりの金額は、当該年度の1月1日時点の住民基本台帳人口で算出

町債の合計額

その他の町債

臨時財政対策債

町債とは町が借りるお金のことです。

令和6年度は返済額より借入額が多かったため、残高は52億1,607万円と前年度より5,637万円増加しています。

また、町債残高の内、臨時財政対策債が約6割を占めます。

主に返済額に対し地方交付税が交付される町債に限定して借入を行ってきたため、府内類似団体より残高が下回っている状態が続いています。今後は小中一貫校の整備や公共施設の再編を実施するため、町債残高は増加する見込みです。

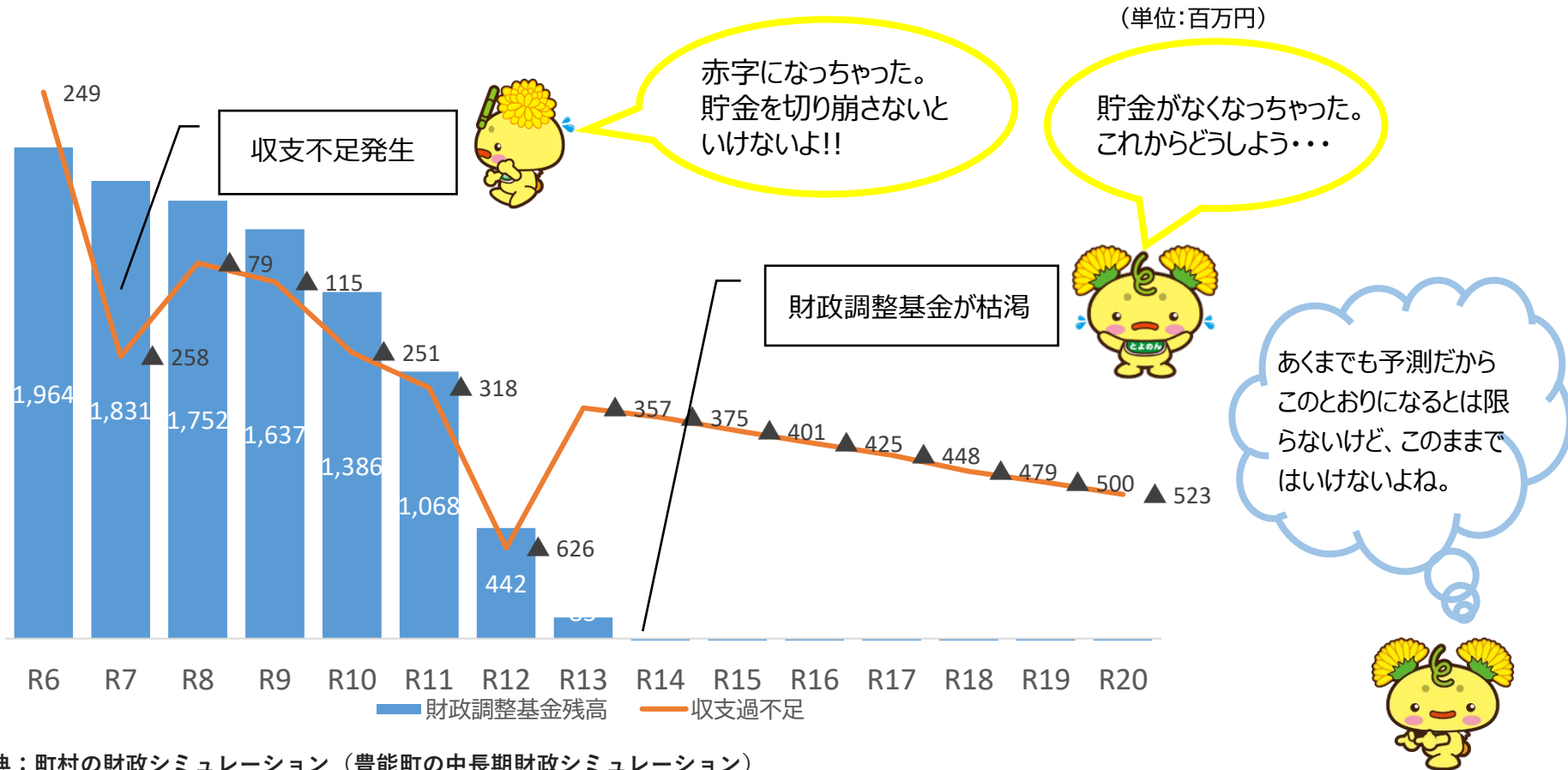
臨時財政対策債は、地方交付税の代わりになるお金のことだよ。

国の財源不足により、地方交付税の一部を借金に振り替えて、その代わり借金の返済額は後年度の地方交付税で全額措置される、という仕組みなんだ。



16 今後の豊能町の収支状況はどうなるの？

(単位:百万円)



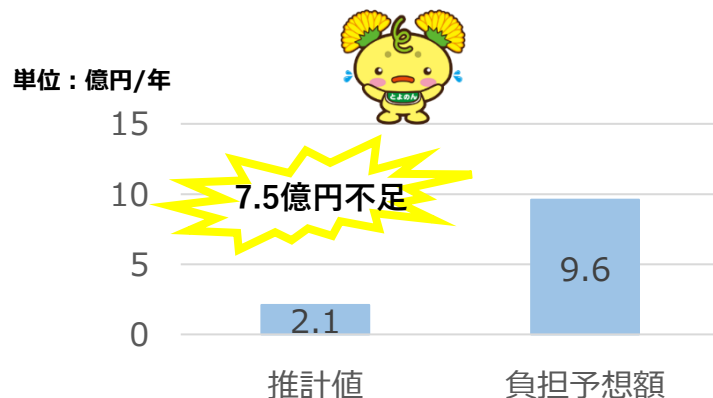
出典：町村の財政シミュレーション（豊能町の中長期財政シミュレーション）

- 人口減少に伴う税収減、社会保障経費の増のほか、大規模建設事業の影響により厳しい推計結果となっています。
 - ・歳入：地方交付税は横置き、住民税は急激な人口減少により大幅減となるため、トータルでは減少傾向
 - ・歳出：社会保障経費の増加や物価上昇により増加傾向。建設事業費は小中一貫校の整備、公共施設の再編によりR12まで高い水準で推移（ただし再編による効果額等は含まれていない）

17 豊能町の課題

① 老朽化した公共施設の改修・建替え

令和5年度に改定された豊能町公共施設等総合管理計画では、令和5年度から令和37年度までの33年間の公共施設更新等費用総額を1年当たり換算すると約9.6億円となっています。対して普通建設事業費（施設改修等にかかる費用）の予算(推計値)は約2.1億円/年です。単純に差引くと、約7.5億円/年不足しており、現在の規模で公共施設を維持することは非常に困難です。



② 少子高齢化に伴う歳入減少、歳出増加

今後歳入面では、働き手の減少に伴った町税の減少が懸念されます。

一方歳出面では、高齢化に伴い、医療福祉関係の社会保障費（扶助費）などの増加が見込まれており、厳しい財政状況が予測されます。

- ① 移住支援・空き家バンクなどの活用によって人口の増加を図る
- ② ふるさと納税を充実させるなど、町税以外での収入を確保することも大切だね。とよのんも頑張ってる豊能町をPRしているよ!!

今後、公共施設整備費用や扶助費などが増加することを考えると、歳出抑制には限界があります。健全な財政運営を目指すために、本町では「小中一貫校の整備」「公共施設の再編」等を行い、収支の改善に向けて取り組んでまいります。次のページで詳しく紹介します。



18 豊能町の取組み

○小中一貫校の整備

児童数・生徒数が減少しているが、小中学校の学校数は変わらず、教室の数は児童数・生徒数が増加傾向にあった頃のみである現状を踏まえ、小中一貫教育などの教育的な課題があることも考慮した上で、本町の規模に応じた最適な学校施設のあり方を検討し、東・西地区に1校ずつ小中一貫校を整備することとしました。現在令和8年度の開校に向けて所要の工事を行っています。

○公共施設の再編

令和3年度に公共施設再編検討委員会を設置し、本町の今後にふさわしい公共施設のありかたを検討しました。委員会の方針を受け、町では令和5年6月に「豊能町公共施設再編に関する基本方針」を定めました。

現在、東・西地区それぞれの「公共施設再編整備基本計画」の策定に向けて、実際に公共施設をご利用されている町民の皆さまとワークショップを実施しております。ワークショップメンバーは、東・西地区合わせて約40名で、10代から70代までの幅広い年齢層の方にご参加いただき、計画づくりのために活発な意見交換を行いながら進めております。

学校などの施設を再編（集約）することで、施設維持費や改修費などが大幅に削減され、支出の改善が見込まれます。

今後も持続可能な町政運営を目指してまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力をこれからもよろしくお願ひします。

